

Press Release(H26/6/5)

イベント情報掲載と取材について（お願い）

日頃より本学の教育・研究活動にご支援いただきありがとうございます。
本学では下記の行事を開催いたします。
つきましては、貴社の情報コーナー等で紹介していただきたく存じますので、よろしくお取り計らい願います。
また、当日の取材につきましても併せてお願いいたします。

記

行事名

岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究センターシンポジウム
野生動物捕獲の手法論と体制論
～手法と体制の適切なマッチングをめざして～

日 時：平成26年6月22日（日）13:00～17:00
場 所：岐阜大学講堂（岐阜市柳戸1-1）
対 象：一般市民・狩猟関係者・行政関係者等（入場無料・事前申込不要）
主 催：岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター
共 催：岐阜大学応用生物科学部，岐阜県域農林業教育システム連携協力会議
後 援：岐阜県，一般社団法人岐阜県猟友会，中部地方環境事務所，東海農政局，日本哺乳類学会，「野生生物と社会」学会

近年、シカ等の野生動物の増加に伴い、農林業被害や自然生態系の破壊、人身事故などが多発し、その解決を目的とする手法の開発や実証といった事業が続けられています。しかし、捕獲事業が成功するか否かは、採用する手法とその実施をサポートする体制との適切なマッチングに委ねられていると言っても過言ではありません。そのため、他地域で成功した手法を、体制を整えることなく導入した事例の多くが失敗に終わっています。また、先行した失敗事例を、原因を詰めぬまま流用し同じ失敗を繰り返すなど、順応的対応が為されていないケースも散見されます。そこで本シンポジウムでは、野生動物捕獲事業をめぐる様々な事例や状況、課題を整理するとともに、「手法と体制の適切なマッチング」を達成するためのプロセスの在り方について議論を深めたいと考えています。

【本件に関する問い合わせ先】

岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター 鳥獣対策研究部門

TEL：058-293-3416（担当：原口）

E-mail：rcwm@gifu-u.ac.jp

URL：http://www1.gifu-u.ac.jp/~rcwm/